

第 11 回女性起業家大賞・スタートアップ部門 奨励賞

お客さまの視点でお店を“変える”

株式会社 カエルカンパニー 代表取締役 岡崎 美紀子

飲食店のコンサルティングを通じてまちを元気にしたい！
地域活性化をプロデュースすることが目標です



やりたいことを実現するため
創業を決意

カエルカンパニーの「カエル」は「Change」。人をカエル、お店をカエル、社会をカエル。そんな思いを社名に込めています。

私はファミリーレストランで店長を務め、結婚を機に退職しました。店長時代は忙しくて自分のお店にしか行く時間がなかったのですが、退職後は色々なお店を利用しました。そんな中で感じたのが、「もったいない」。この思いが、後に私を起業へと駆り立てます。

「もったいなかったらお店の売り上げが上がるのに」。この思いを何とかできないかと模索していたところ、テレビで「ミステリーショッパー(覆面調査員)」という仕事を知りました。早速、さまざまな会社に登録して実際に仕事をしましたが、理想の会社も見つからなかったのが、「それじゃあ自分でつくろう」と。こうして創業を決意したのです。

平成19年、広島市の「女性シニアパッケージ型支援事業(現チャレンジ創業資金)」に認定され、「ミステリーショッパーコンサルタント」を事業の柱として起業しました。覆面調査員を育成し、ついに

営業をスタート。すると、「調査よりも研修をやってほしい」「起業の相談に乗ってほしい」という声をいただいたため、研修事業、コンサルタント事業も始めることになりました。

といっても、コンサルタントも研修講師の経験がありません。研修は、店長時代に学んだことを生かしながら実践していきました。コンサルタントに関しては多くの本を読み、感想の送付と一緒にアポを取って先輩コンサルタントの下で学ばせていただきました。さらに、セミナーやお店にも通い、自分の分析力と観察力を磨いていったのです。

地域の飲食店を
盛り上げるために

お客さまから「また会いたい」と思われるホールスタッフの日本一を決める「S1サーバードラッグラン」の地区本部長(現理事)として、地域の飲食店を盛り上げるための活動も始めました。この活動を通じ、同じ志を持って一緒に仕事ができる仲間に出会うことができました。仕事に幅が出るようになり、自信も持てるようになりました。今後より一層、飲食業界の

発展のために力を入れていきたいと思っています。

目標は、地域活性化のプロデュースまで行えるようになることです。世界中で日本食ブームが起きている今、海外でも勝てるお店のプロデュースや起業のサポートなどもやっていきたいと思っています。また、子どもが小さくて思うように仕事ができない女性にも事務作業を分担してもらったり、活躍の場を提供することで、事業の多様化にも対応していきます。

私のモットーは「常にお客様目線で考えること」です。そして何より、わが社の一番の商品は「アイデア」です。常にクリエイティブな脳でいたい。本を読んだり、映画を見たり、旅に出たり。楽しみながら、学びながら、仕事をしている。私はこんな自分の仕事が好きですし、天職だと思っています。



株式会社カエルカンパニー
(広島市)

平成19年創業
飲食店コンサルタント・店舗プロデュース業
<http://www.kaerucanpany.com>